

## 福井県におけるラミーカミキリ(コウチュウ目)とクロメンガタスズメ(チョウ目)の分布状況

下野谷 豊一\*

Distributional notes on *Paradenea fortunei* (Saunders) (Coleoptera, Cerambycida) and  
*Acherontia lachesis* (Fabricius) (Lepidoptera, Sphingidae) in Fukui Prefecture, Central Japan

Toyokazu SHIMONOYA\*

(要旨) 福井県内で北上を続けるラミーカミキリ(カミキリムシ科)の近況と、採集例が増加している福井県未記録のクロメンガタスズメ(スズメガ科)を記録する。

キーワード：温暖化、ラミーカミキリ、クロメンガタスズメ

### 1 急速に分布拡大をするラミーカミキリ

福井県におけるラミーカミキリ *Paradenea fortunei* (Saunders, 1853)の分布状況については、2005年に福井市自然史博物館研究報告、第52号で報告した(下野谷, 2005)。その後も調査を継続中であるが、結果は予想を上回る早さで分布を拡大している。そこで、これまでに新たに確認できた地点ならびに分布の拡大状況を報告する。2007年の勝山市と永平寺町での採集記録をお教えいただいた黒川秀吉氏、田埜正氏、野坂千津子氏にお礼申し上げる。

ラミーカミキリ *Paradenea fortunei* (Saunders, 1853)

芦原市笹岡：1 ♂, July.10 2008

坂井市山竹田：1 ♂, July.21 2008.

勝山市鹿谷町、西光寺：1 ♂, July.7 2007. 野坂千津子氏 採集

吉田郡永平寺町寺本：1 ♂, July.26 2007. 黒川秀吉氏 採集

福井市深谷町(深谷町の集落から約1kmほど登った林道沿い)：2 ♀, July.5 2008.

福井市深谷町、日野川河川敷：1 ♀, July.15 2008



写真1. ラミーカミキリ

(写真1)

福井市二の宮(住宅地を流れる水路脇で)：1 ♂, July. 17 2008.

三方郡若狭町遊子～神子：多数確認, July.16 2007.  
多数確認, June.26 2008.

### 2 調査結果の考察

それにしても、ここ数年間の分布拡大には驚きである。これまでの分布地は冬季の平均気温が4℃の等温線より高い、海岸に沿って通る道路脇の草地に限られていたが、冬季の気温も低く積雪も多い山間部にまで侵入するとは考えてもいなかった。しかし、結果は僅か3年間で内陸部にまで達している。どのような経路と要因で侵入できたかは、今後さらなる調査が必要だが、今ここで思いつくのは気温の上昇であろう。暖地性の種の分布拡大には特に冬季の気温上昇の影響が大きく、過去3年間での北上を伴う急激な分布域の拡大は、やはり温暖化の影響が最も大きい。

この他、幼虫の食草となるカラムシ *Boehmeria nippononivea* Koidz (イラクサ科)が、すでに県内各地の道路沿い、大きな河川の堤防の斜面、集落周辺の荒地などに広がっており、この点でもラミーカミキリの分布拡大に必要な生息条件には何の問題もない。

ところで、今回記録した若狭町遊子～神子(常神半島)は県内で最も早く侵入した高浜町～小浜市に隣接しているので、当然すぐに侵入してくるものと予想し毎年訪れていたが、2006年までは確認できなかった。気温、食草の何れも揃っているのになぜ侵入できなかったのだろうか。分布拡大にもう一つ重要なのが成虫の移動力で、この種の場合は飛翔力が問題となる。この種の成虫を観察していると、食草付近を飛び回るがすぐに近くへ静止し、視界から消えるほど遠くへ飛翔

\*〒910-0004 福井市宝永3-31-12

\*3-31-12, Houei, Fukui, Fukui 910-0004, Japan

することはない。常神半島より北に位置する福井市～南越前町の海岸沿いの方に早く侵入できたのは、自力での飛翔以外の方法で移動したからであろう。そこで考えられるのが同じ甲虫類で外来種のコルリアトキリゴミムシ（ゴミムシ科）ブタクサハムシ（ハムシ科）などが、日本への侵入後トラックなどの通行車両が多い国道沿いに急速に分布拡大をしたことで、これは成虫が車両の車体に静止して移動した結果で、このラミーカミキリの分布拡大も、上述の(1)気温（温暖化）、(2)食草（カラムシ）と(3)車両による移動、が要因と推定する。

従って、常神半島への侵入が遅れたのは、やはり通行車両の少なさと道路環境であろう。さらに今回確認された県境に近い芦原市笹岡や坂井市山竹田では整備された道路が石川県に向かって通っており、特に芦原市笹岡は国道8号線沿いにあり通行車両も多く、石川県に侵入するのは時間の問題で、今夏すでに県境を越えていることも予想できる。

### 3 定着したか？ クロメンガタスズメ

胸部の背面にドクロ状の斑紋を有する大型のスズメガで、かつて「羊たちの沈黙」という映画の宣伝ポスターに展翅された標本写真が出ていたので、記憶されている方があるかもしれない。いきなり余談になってしまったが、この種の幼虫はナス、ゴマ、マメなどの栽培植物を食し、蛹で越冬することが知られている。これまでインド～マレーシア、中国、台湾、国内では沖縄、九州南部に分布していたが、近年、本州にも侵入し年とともに北に向かって分布を拡げているこの種が福井県内で見付き始めてから10年近くになる。すぐに記録すべきであったが、偶産種であろうと考え、何れなにかの機会にまとめて記録しておこうとしている間に時間が経ってしまった。

今年も福井市、鯖江市、越前市、敦賀市などから観察情報があり、越前市の方からは「キーキーキー・とセミのように鳴く変な形の虫がいるが、何という虫でしょうか」との質問とともに生きのまま届けていただいたので、手許の採集データとともに合わせて未記録種として報告する。標本を提供いただいた越前市宮谷の東川氏に深謝申し上げる。

クロメンガタスズメ *Acherontia lachesis* (Fabricius)  
(福井県未記録)

坂井市鎌谷：1 ♂, Sep.15 2004.

鯖江市西袋：1 ♂, Sep.12 2006.

越前市宮谷：1 ♂, Sep.23 2008. 東川氏 採集(写真2)



写真2. クロメンガタスズメ

これで福井県にはメンガタスズメ (*A. styx crathis*) とクロメンガタスズメの2種のメンガタスズメ属が分布することになる。ちなみにメンガタスズメ属 (*Acherontia*) は世界に3種が知られ、あとのもう1種 *A. atropos* (写真3) が中東からヨーロッパ南部、アフリカ北部に分布する。この種も移動することが知られている。



写真3. *A. atropos*

#### 参考文献

- B.D'Abbrwa, 1986, Hawk Moth of the world. E.W.Classey Ltd.  
井上 寛, 1982, 日本産蛾類大図鑑 第1巻, 講談社.  
草間慶一, 1984, 日本産カミキリ大図鑑, 講談社.  
下野谷豊一, 1998, 福井県昆虫目録(第2版)チョウ目. 福井県. 441-556.  
下野谷豊一, 2004, 外来種2種を含む福井県産甲虫の分布記録, 福井市自然史博物館研究報告, (51), 31-35.  
下野谷豊一, 2005, 福井県におけるラミーカミキリ(コウチュウ目)の分布拡大状況, 福井市自然史博物館研究報告, (52), 99-101.